

2009年11月6日

2010年3月期 第2四半期決算説明会 Q&A

テレビ東京 広報・IR部

- Q スポット売上がプラスに転じている局もある中、テレビ東京が苦戦している背景は。
- A 視聴者層がM3, F3に寄っていることから、動きの出てきた化粧品・トイレタリーを取り込めていないことが要因。1年前にはその弱みをカバーするテレビ東京1局使用のスポットがあったが、今年はそこも苦戦している。
- Q その他視聴率でBS視聴率が伸びているとのことだが、どのように考えるか。
- A 巨人戦などM3視聴者がメインとされる番組は、テレビ東京のメインターゲットと重なるので、影響が出ていることが推測される。BSにはテレビ東京の番組に似たような番組が見受けられる。同じ土俵で戦うのであれば、テレビ東京に一日の長、いや三日の長がある。
- Q 動画配信について。出遅れているのか。
- A テレビ東京の規模では、収益モデルが確立していない状態で参加するほど余裕はなかった。「やりすぎオンデマンド」のような形で少しずつ取り組んでいく。動画配信の有力コンテンツであるドラマがテレビ東京には少ない。ただ、前に進めていかなければならないという全社的なコンセンサスはある。
- Q 設備投資の状況について。
- A デジタル中継局の建設への投資が大きい。キー局6局共同で建設するものであり、平等に負担するものであることから、テレビ東京にとって相対的に影響が大きい。数カ月の工期のずれで年度をまたぐこともあり、それによる減価償却費の振れが損益にインパクトを与えることもある。
- Q 長期借入を50億円した理由は。
- A 売上については、放送タイミングから3~4カ月程度遅れて入金がある。費用については、放送日の翌月に支払が発生。下請法の関係もありキャッシュアウトが先行する状況が進んだ。設備投資もあることから、長期的な資金の余裕を持つため長期借入れにより資金を調達した。ちなみに4~9月ではこの50億円が無くても資金は回っている状況であった。

以上